

まちの将来に向けて、計画をつくります

－ 第2期洞爺湖町まちづくり総合計画 －

洞爺湖町ではこれまで地域特性を活用しながら、元気あるまちを目指して様々な取組を行っていますが、合併から10年が経過したことから、まちの将来に向けた『第2期洞爺湖町まちづくり総合計画』の策定を進めています。この計画は、今後のまちづくりの方向性を示すもので、平成29年度から平成38年度までの10年間の計画期間としています。

計画策定にあたり、これまで洞爺湖町まちづくり審議会や住民意見交換会などで、ご意見やご提案をいただいております。これらを踏まえて計画に反映していく予定です。今回は皆さんからいただいたご意見・ご提案の一部をご紹介します。

プラス要因

マイナス要因

まちの強み

- ・自然(海・山・湖)があり自然景観に優れている
- ・良質な地場産品・食材がある
- ・福祉、医療施設が充実している
- ・ジオパークなどの施設や資源がある
- ・大学と協定を結んでいる

提 案

- 定住・移住に対する支援策の充実(助成など)
- 自然を生かしたのびのびとした子育て環境と支援の充実
- 大学と連携した学生の活用
- 元気な高齢者が働いたり、特技を活かせる場をつくる
- 空き家等のスペースを活用して、ゆっくり過ごせる場所を提供
- 地元の良いものを買える仕組み
- 移住者と話ができる場を提供(イベント、地域住民など)
- ビエンナーレ事業の再開

まちの弱み

- ・地場産品の販売・流通力が不足している(地元で購入できない)
- ・町内での情報伝達・共有が希薄
- ・希望する雇用条件にあう職場がない
- ・産業間のつながり、連携が弱い
- ・若者の社会参加が少ない

機会(チャンス)

- ・健康志向の高まり
- ・地元食材への関心が高い
- ・外国人観光客が増加している
- ・地方への移住希望がある
- ・町外からの通勤者が多い
- ・体験型やスポーツ観光の需要
- ・北海道新幹線の開業

脅威

- ・噴火災害が起こる
- ・修学旅行や日本人観光客の減少
- ・人口減少(生産人口、子どもの減少)
- ・関税撤廃による安価な輸入品の増加(TPP)
- ・世界経済の影響を受ける(外国人観光客の減少)

計画は年内にまとめる予定です。パブリックコメントも実施しますが、皆さんと一緒に計画を策定していきたいと考えておりますので、自治会や老人クラブ・サークルなどのご要望にあわせて、個別に意見交換会を開催します。その際にはお気軽に企画防災課までご連絡ください。

■問合せ 企画防災課企画グループ

☎ 74-3004



意見交換会の様子